



議員立法：コロナ困窮労働者 給付金法案の提出

コロナ禍が長期化する中、支援のすき間が出てきています。現在、住民税非課税世帯や子ども向けの支援策は整えられている一方、ワーキングプアと呼ばれる就労しながらも生活が厳しい方々への支援策が不足。今回の法案提出は、支援のすそ野を広げる一歩です。食品の値上げや燃料価格の高騰など家計への負担が増えている今だからこそ、多様な生活スタイルに即した柔軟な支援体制の構築に向けて全力を尽くします。



環境委員会・東日本大震災復興特別委員会に所属となりました

衆議院では17の常任委員会と特別委員会があり、それぞれの分野における案件を審査する役割を持っています。政策的な判断をする大切な仕事であるからこそ、しっかりと現場と仕組みをつなぐ立場として働きかけていきます。



コロナ禍による所得減少…
働きながらも生活が厳しい方々への支援へ

初の法案提出

所属委員会が決定

活動報告：20~30代とのオンライン交流会



Zoomで オンライン活動報告会

2022年1月30日(日) 20:00~21:00

国会での法案提出や所属委員会のこと、
議員になってあらためて感じる地域・現場の声、
駆け抜けたこの3ヶ月間をご報告いたします。
皆さんからの質問にもお答えします!!

開催します!!



参加申込フォーム

固定概念に捉われない住民主体の政治づくりを。

馬場ゆうきとともに歩む会



一歩ずつ、着実に 新人目線だからこそできる 政治への挑戦

20～30代との交流 →

同世代に向けて動画4本の撮影やNGなしのオンライン交流会を企画していただき、大盛況でした。政治に対する素朴な疑問・質問にお答えしました。

動画はこちらからご覧ください



← 長期的な目線で政治を

SDGsアドバイザーとして、徐々に登壇。学生たちからたくさんの刺激を受けました。目先の課題解決だけでなく、持続可能な未来に向けてできることを一歩ずつ進めてまいります。



応援ありがとうございます！

私、馬場ゆうきは皆さまからの温かいご声援・ご支援があっって今につながっています。早いもので、国会議員となり、2ヶ月が経ちました。地盤・看板・鞆もない中で、手探りのスタート。「何もない」からこそ、できることがあります。新人議員ながら法案提出に携わったり、泉健太代表・小川淳也政調会長に福島第一原子力発電所をはじめ帰宅困難区域を視察いただいたり、慌ただしくも濃密な日々を過ごしています。

臨時国会の会期中は、朝郡山から出発し、国会で議論し、夜は郡山で街頭する生活が続きました。あくまで地域の課題を政策に落とし込む代弁者としての役割を担えるよう、現場の声を大切に、これからも活動に邁進していきます。



見かけたらお声がけください →

夏から始めた自転車街宣も継続中です！自転車だからこそ、学生やお散歩中の方など気軽に話すことができ、地域とつながる大切な時間となっています。見かけた際はぜひお声がけください。



地盤・看板・鞆なし！



みなさんの“力”が馬場ゆうきです。

ともに話す ともに動く チラシお届け

馬場ゆうきとともに歩む会（後援会：年会費2000円）

ぜひ、馬場ゆうきをお育てください！

申し込みはお電話かHPよりお願いします。



～ 編集後記 ～

2021年は模索する毎日でした。徐々に体制が整い、事務所スタッフも増えました。2022年、後援会も一段とギアを上げて進んでまいります！（編集！）

MUGENDAI ∞ BABA YUKI

郡山市八山田5丁目214サルーテⅡ103

TEL：024-953-8109

FAX：024-953-8110

発行：馬場ゆうきとともに歩む会（後援会）